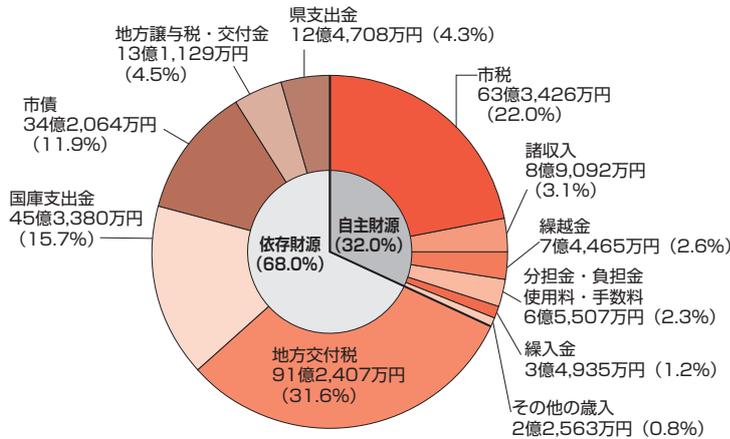


二本松市の財政

一般会計 歳入

288億3,676万円(前年比11.3%増)



財政公表について

市の財政がどのような状況にあり、皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金、市の財産、借りているお金がどのように使われているかを知っていただくため、財政状況を市民の皆さんに公表しています。

今回は、「平成21年度決算」の概要をお知らせします。

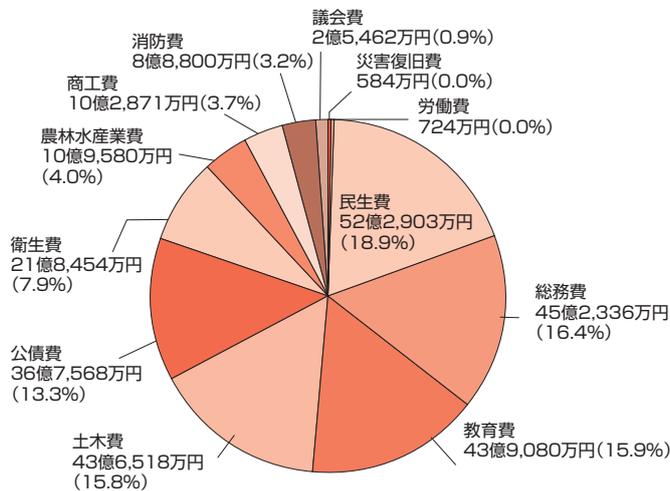
平成21年度決算の概要

平成21年度一般会計決算額

| | |
|-----------------|-------------|
| 歳入総額 | 288億3,676万円 |
| 歳出総額 | 276億4,880万円 |
| 差引 | 11億8,796万円 |
| 平成22年度へ繰り越すべき財源 | 1億8,230万円 |
| 実質収支額 | 10億566万円 |

一般会計 歳出

276億4,880万円(前年比10.2%増)



歳入では、地方交付税が「生活防衛のための緊急対策」として増額されたほか、国庫支出金も大幅に増加しました。また、事業実施に伴う市債についても前年度に比べて増加しました。

一方、市税が、景気後退の影響を受け減額となったほか、地方譲与税・交付金が減少となりました。

歳出では、市長期総合計画に掲げられた基本目標実現のため、より効果的に展開されるよう主要施策を選定、実施してまいりました。主な概要については、次ページに掲載しています。

～歳出用語の解説(主な支出科目)～

- ◎民生費：福祉、生活保護、子育て支援などの経費
- ◎総務費：税金の賦課徴収、選挙、支所等管理、国際交流、自治振興などの経費
- ◎教育費：学校教育や生涯学習(社会教育)などの経費
- ◎土木費：道路や河川等の整備、市営住宅管理などの経費
- ◎公債費：市の借金の返済などの経費
- ◎衛生費：各種検診、予防接種、ゴミ処理などの経費

～歳入用語の解説(主な歳入科目)～

- ◎市税：市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税等
- ◎諸収入：各種貸付金元利収入等
- ◎繰入金：基金(市の預金)を取り崩したお金等
- ◎地方交付税：地方公共団体の財源調整を目的として国から交付されるお金
- ◎国庫支出金・県支出金：特定の事務事業のために国(県)から交付されるお金
- ◎市債：市の事業や国の施策により発行した借入金

市債残高

| 会計 | 残高 | 市民一人あたり |
|------|-------------|-----------|
| 一般会計 | 303億212万円 | 49万4,172円 |
| 特別会計 | 53億5,662万円 | 8万7,357円 |
| 企業会計 | 122億3,799万円 | 19万9,579円 |
| 合計 | 478億9,673万円 | 78万1,107円 |

- ※上記数値は平成21年度末市債残高です。
- ※特別会計は、国保診療所建設事業、簡易水道事業、下水道事業分です。
- ※企業会計は、水道事業、下水道事業分です。
- ※市民一人あたり残高は、平成22年3月31日現在の住民基本台帳人口(61,319人)を基準にしています。

市民一人あたりに換算すると

一般会計

一人あたりの市税負担額
10万3,300円
一人あたりに使われたお金
45万901円

①活力ある産業・観光交流のまちづくり

地域の特色を生かした産業の振興、活力と賑わいの創造

市内産業の振興と経営力の向上支援として商工業融資事業などを実施するとともに、企業立地の促進を図りました。また、中心市街地の活性化のため、二本松駅前周辺整備および市民交流センターの建設・運営を行いました。さらに、もてなし観光を推進するため、観光案内サインの整備をはじめ、日本一の桜の郷を目指して苗木の植栽事業を推進しました。道路網の整備にも努め、都市基盤の充実と魅力的なまちづくりを推進しました。

| | |
|-----------------------------|------------|
| ○地域担い手育成総合支援事業 | 1,576万円 |
| ○地域振興整備事業 | 7,330万円 |
| ○商工業融資事業 | 6億673万円 |
| ○工場等立地促進事業 | 2,316万円 |
| ○二本松駅前周辺整備事業(市民交流センター建設費含む) | 11億9,531万円 |
| ○市民交流センター管理運営経費 | 4,113万円 |
| ○観光案内サイン整備事業、花と緑の拠点整備事業 | 2,162万円 |
| ○道路橋梁整備事業 | 9億992万円 |



▲市民交流センター2F みんなの広場

②人を育てるすこやかなまちづくり

子育て支援、次代を担う子どもたちの育成

子どもを産み育てやすい環境の整備として、安全で正常な出産ができるよう妊婦の健康診査費を助成したほか、子育て家庭の経済的負担の軽減のために、小学生の医療費を助成しました。また、教育環境の整備・充実のため、東和小学校、川崎小学校を新設・整備するとともに、次世代の体力・学力の向上に努めました。

| | |
|----------------------|------------|
| ○妊婦健康診査事業 | 2,681万円 |
| ○小学生医療費助成事業 | 2,877万円 |
| ○学童保育事業 | 6,225万円 |
| ○学力向上対策事業、基礎学力向上推進事業 | 3,095万円 |
| ○東和小学校建設事業、川崎小学校建設事業 | 12億8,883万円 |



▲東和小学校

学習、文化活動のさかんなまちづくり

多様な学習機会を提供するため、岩代総合文化ホールを整備しました。また、大山忠作美術館を開館・運営し、芸術文化に触れる機会を提供するなど、個性豊かな芸術文化の振興を図りました。

| | | | |
|----------------|-----------|----------------|---------|
| ○岩代総合文化ホール整備事業 | 2億3,057万円 | ○大山忠作美術館管理運営経費 | 2,755万円 |
|----------------|-----------|----------------|---------|

③安全・安心、市民の暮らしを支えるまちづくり

安心して暮らせる福祉社会づくり

救急医療知識の普及、公共施設へのAED(自動体外式除細動機)配置など地域医療の充実を図るとともに、要援護高齢者の生活支援のため、洗濯、会食など各種サービスを実施し、在宅福祉サービスの充実に努めました。

| | | | |
|---------|---------|-------------|---------|
| ○救急医療事業 | 3,342万円 | ○高齢者等生活支援事業 | 3,784万円 |
|---------|---------|-------------|---------|

市民の生命と財産の確保

市民が安全・安心に生活できるよう消防ポンプ自動車、小型動力ポンプの更新、消火栓および防火水槽の設置等、有事に備えるとともに、市内防犯団体と防犯運動を推進し、パトロール活動により防犯体制の強化に努めました。

| | | | |
|------------|---------|-----------------|-------|
| ○消防施設等整備事業 | 8,866万円 | ○地域安全パトロール隊設置事業 | 356万円 |
|------------|---------|-----------------|-------|

※平成21年度決算の詳細については、決算書および関連資料を本庁企画財政課のほか、各支所、住民センター、公民館、図書館に備え付けていますのでご覧ください。